



2026年WSWS 競技ルール・変更点について

※本シリーズ(WSWS)は、

WWA(World Wake Association)の競技ルールに準拠し、大会を運営しております。

そのため、2026年シーズンより一部ルールの変更・統一が行われます。

① 日本開催大会について

- 2026年、日本では全4大会の開催を予定
(5月:広島/6月:浜名湖 / 7月:琵琶湖/8月:中部)
- 各大会の正式な開催日は決定次第発表
- 日本開催の4大会すべてがワールド選考対象大会

ワールド招待について

- 原則として3大会以上の出場が条件(国内、国外問わず)
- ただし、ディビジョンや状況により1大会のポイントで招待される可能性あり

——

② ディビジョン(クラス)について【重要変更点】

- WWAルール推奨により、ディビジョンはWWA基準で統一
 - WWA Ridelineに記載されているディビジョンで大会を実施
- ※クラス名称が変更されているため、事前確認必須

エントリー方法

- 全選手:WWAアプリで選手登録
 - その後、Rideline(WSWS)から大会エントリー
-

③ 2026年 ディビジョン一覧

- プロクラス
 - オープンクラス(旧セミプロ)
 - アマチュア50+クラス(新設)
 - アマチュア35~49クラス
- ※WSWSマスタークラスに変更される可能性あり
- アマチュア14~34クラス
 - ユースクラス

年齢とエントリーの考え方

- 自分の年齢区分以下(若いクラス)へのエントリーは可能
- 年上のクラスへのエントリーは不可

例

- 20歳 → アマチュア14~34 + オープンクラスにエントリー可能
 - 40歳 → アマチュア14~34、マスター(35~49)、オープンにエントリー可能
 - 55歳 → プロ以外、ユース以外のクラスにエントリー可能
 - 50+クラスはSurfとSkimの混合クラス
-

④ エントリー人数が少ない場合の対応

- クラス人数が少ない場合、クラス統合して競技を実施
- ただし、ポイントは自身が登録したクラスに付与

例

- アマチュア35～49:2名
 - アマチュア14～34:1名
 - 「アマチュア14～34クラス」として統合開催
 - 各選手のポイントは登録クラスに反映
-

⑤ 日本独自クラス(ワールド対象外)

- アドバンスクラス(旧オープンクラス)
- ノービスクラス(旧ビギナークラス)

※上記2クラスは

- WWA選手登録は必要
 - ワールドチャンピオンシップの選考対象外
-

⑥ 大会フォーマット(競技方式)

- 競技の統一のため、ヒート制を採用
 - エントリー数6名以下
 - 予選・準決勝・決勝を実施
 - エントリー数7名以上
 - 予選落ち選手による**LCQ(敗者復活戦)**を行う場合あり
-

⑦ 注意事項(重要)

- 手に付けてその手が紙に付着するような粘着系WAXは禁止
 - 競技中に故意にボートへ触れる行為は失格の可能性
 - ボートスピードの最低ラインはチーフジャッジ判断
 - 波の切り替え(トランスファー)は申告制
 - 事前にドライバーへ伝達必須
 - 終了ブイ付近のコンビネーショントリックは
 - ブイ通過前までが採点対象
 - 通過後のトリックは採点対象外
- ※最終判断はチーフジャッジ
-

⑧ 最後に

本内容は、現段階でWWA(World Wake Association)公式サイトに掲載されている競技ルール・ガイドラインをもとに抜粋・整理したものです。今後、WWAルールの改訂や運用方針の変更により、内容が変更・更新される可能性があります。

最新情報につきましては、

必ずWWA公式ルールおよびWSWS公式からのアナウンスをご確認ください。